

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月15日

【四半期会計期間】 第28期第1四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 ファーマライズホールディングス株式会社

【英訳名】 Pharmarise Holdings Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大野 利美知

【本店の所在の場所】 東京都中野区中央一丁目38番1号

【電話番号】 03-3362-7130(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 執行役員 秋山 昌之

【最寄りの連絡場所】 東京都中野区中央一丁目38番1号

【電話番号】 03-3362-7130(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 執行役員 秋山 昌之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第27期 第1四半期 連結累計期間	第28期 第1四半期 連結累計期間	第27期
	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成25年5月31日
売上高 (千円)	7,458,588	9,142,381	33,357,066
経常利益 (千円)	245,830	325,786	1,228,220
四半期(当期)純利益 (千円)	102,245	140,917	958,001
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	105,146	144,003	971,652
純資産額 (千円)	3,592,871	4,498,027	4,459,377
総資産額 (千円)	17,226,130	24,141,860	23,774,243
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1,363.22	1,878.83	12,772.85
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	20.0	18.0	18.1

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の子会社）において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日～平成25年8月31日）における経済状況は、中国をはじめとする新興国経済の減速や長引く欧州経済の低迷等の不安材料を抱えるものの、政府の経済対策や日銀の金融政策により、企業業績の改善や個人消費の持ち直し等、景気回復への兆しも見られる状況にあります。

このような情勢のもと、当社グループは、引き続き新規出店による事業基盤の拡大に努めるとともに、異業種との業務提携に基づく調剤薬局の面展開や新業態開発に向けた取り組みを着実に推進しております。

これらにより、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高は9,142百万円（前年同期比22.6%増）、営業利益は382百万円（同23.6%増）、経常利益は325百万円（同32.5%増）、四半期純利益は140百万円（同37.8%増）と前年同期比で増収増益を確保することができました。

売上高につきましては、前連結会計年度に取得した新世薬品株式会社や有限会社たかはし（現株式会社たかはし）等の調剤薬局事業会社及び紙カルテやレントゲンフィルム等の医学資料の保管・管理業務を担う株式会社寿製作所が連結売上高に寄与したほか、処方せん単価の上昇等により前年同期比で増収を確保いたしました。

営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、周辺業種の参入により競争が激化する業界環境の影響を受け調剤薬局事業で労務費が増加したほか、新規連結子会社における費用やのれん償却等により費用負担は増加しましたが、事業基盤の拡充による増収で吸収を図り、いずれも前年同期比で増益を確保いたしました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは、2店舗（留萌大町（北海道）、みよし（愛知県））の新規開局を行い、当社グループが運営する調剤薬局は同期間末時点で205店舗（直営204店舗、F C 1店舗）となりました。

薬局運営面につきましては、中期経営計画で掲げるソフト（高付加価値）戦略に基づき、地域医療（在宅医療・施設調剤）、後発医薬品、予防医療、に関する取り組みを推進してまいりました。特に後発医薬品につきましては、実績推移も好調であり、「安全と効果の検証」の方針に従い、対応をさらに加速させております。また、医薬分業率が既に一定水準に到達している状況を踏まえ、株式会社ヤマダ電機や株式会社ファミリーマートとの業務提携に基づく調剤薬局の面展開や新業態開発に向けた取り組みも着実に推進しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は売上高は8,619百万円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は368百万円（同7.3%増）となりました。

(その他)

その他の事業の主な内容は、JR札幌駅内の「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」に展開する「ファーマライズ医療モール」の運営と、平成24年10月に連結子会社化した株式会社寿製作所が手掛ける紙カルテやレントゲンフィルム等の医学資料の保管・管理事業であります。その他は、当社による処方データの販売、子会社の株式会社ふじい薬局による化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸売販売、ファーマライズ株式会社の子会社である株式会社レイケアセンターによる人材派遣事業等であります。

その他の事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は522百万円（前年同期比110.8%増）、セグメント利益は63百万円（同228.4%増）となりました。

(2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は3百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	313,980
計	313,980

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	78,495	78,495	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)	単元株制度を採用しておりません。
計	78,495	78,495	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日		78,495		815,545		762,846

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,492	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 75,003	75,003	同上
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	78,495	-	-
総株主の議決権	-	75,003	-

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) ファーマライズホールディングス株式会社	東京都中野区中央1- 38-1	3,492	-	3,492	4.4
計	-	3,492	-	3,492	4.4

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,676,231	3,793,233
売掛金	1,890,601	1,874,626
商品	967,868	1,221,908
未収入金	1,408,029	1,479,805
その他	417,746	414,138
貸倒引当金	21,134	26,075
流動資産合計	8,339,342	8,757,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,986,923	3,010,268
土地	2,400,137	2,400,137
その他（純額）	534,891	485,843
有形固定資産合計	5,921,952	5,896,248
無形固定資産		
のれん	7,016,482	6,869,758
ソフトウェア	230,925	217,533
その他	50,606	94,184
無形固定資産合計	7,298,015	7,181,476
投資その他の資産		
差入保証金	885,684	900,725
その他	1,406,080	1,480,241
貸倒引当金	94,892	89,891
投資その他の資産合計	2,196,872	2,291,075
固定資産合計	15,416,840	15,368,800
繰延資産		
株式交付費	2,438	2,102
社債発行費	15,621	13,320
繰延資産合計	18,060	15,422
資産合計	23,774,243	24,141,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,332,177	5,675,058
短期借入金	1,350,000	230,000
1年内償還予定の社債	398,000	398,000
1年内返済予定の長期借入金	2,954,600	3,083,913
未払法人税等	311,118	169,819
賞与引当金	83,410	155,878
その他	1,020,238	852,701
流動負債合計	11,449,545	10,565,370
固定負債		
社債	691,500	641,500
長期借入金	6,346,599	7,624,708
退職給付引当金	295,279	302,638
その他	531,941	509,616
固定負債合計	7,865,320	9,078,462
負債合計	19,314,865	19,643,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,545	815,545
資本剰余金	762,846	762,846
利益剰余金	2,789,541	2,825,455
自己株式	88,308	88,308
株主資本合計	4,279,624	4,315,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,920	22,379
その他の包括利益累計額合計	18,920	22,379
少数株主持分	160,831	160,108
純資産合計	4,459,377	4,498,027
負債純資産合計	23,774,243	24,141,860

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	7,458,588	9,142,381
売上原価	6,377,756	7,735,621
売上総利益	1,080,831	1,406,760
販売費及び一般管理費	771,374	1,024,240
営業利益	309,457	382,519
営業外収益		
受取利息	1,050	2,135
受取配当金	431	732
持分法による投資利益	-	1,044
物品売却益	-	14,444
受取賃貸料	5,094	4,794
その他	3,886	12,109
営業外収益合計	10,462	35,260
営業外費用		
支払利息	33,326	45,136
持分法による投資損失	20,249	-
支払手数料	-	33,556
休止固定資産費用	8,309	4,437
その他	12,204	8,864
営業外費用合計	74,089	91,994
経常利益	245,830	325,786
特別利益		
投資有価証券売却益	-	998
特別利益合計	-	998
特別損失		
固定資産除却損	4,833	2,371
賃貸借契約解約損	16,885	1,800
特別損失合計	21,718	4,171
税金等調整前四半期純利益	224,111	322,612
法人税等	120,604	182,067
少数株主損益調整前四半期純利益	103,506	140,544
少数株主利益又は少数株主損失()	1,260	372
四半期純利益	102,245	140,917

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,506	140,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,683	3,458
持分法適用会社に対する持分相当額	43	-
その他の包括利益合計	1,639	3,458
四半期包括利益	105,146	144,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,885	144,376
少数株主に係る四半期包括利益	1,260	372

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
減価償却費	88,015千円	111,590千円
のれんの償却額	63,537千円	146,724千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月28日 定時株主総会	普通株式	75,003	1,000	平成24年5月31日	平成24年8月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月27日 定時株主総会	普通株式	105,004	1,400	平成25年5月31日	平成25年8月28日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	7,210,632	7,210,632	247,955	7,458,588	-	7,458,588
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,210,632	7,210,632	247,955	7,458,588	-	7,458,588
セグメント利益	343,580	343,580	19,371	362,951	53,494	309,457

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業、医療モール経営事業及び人材派遣事業が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 53,494千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	8,619,705	8,619,705	522,676	9,142,381	-	9,142,381
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	8,619,705	8,619,705	522,676	9,142,381	-	9,142,381
セグメント利益	368,777	368,777	63,618	432,396	49,876	382,519

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業、医療モール経営事業、人材派遣事業及び医学資料保管・管理事業等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 49,876千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,363.22円	1,878.83円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	102,245	140,917
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	102,245	140,917
普通株式の期中平均株式数(株)	75,003	75,003

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

ファーマライズホールディングス株式会社
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	渡 邊 芳 樹
指定社員 業務執行社員	公認会計士	鶴 見 寛
指定社員 業務執行社員	公認会計士	波賀野 徹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているファーマライズホールディングス株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ファーマライズホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。